

学園だより

発行
社会福祉法人可茂会
障がい者支援施設
可茂学園
〒509-0213 可児市瀬田1648-9
TEL 0574-64-3366
令和5年8月3日 第37号



目次



施設長あいさつ	2 P	食事の管理について	4 P
明宝会 会長あいさつ	3 P	令和4年度決算書	5 P
可茂会 会長あいさつ	3 P	寄付一覧	6 P
新人職員の紹介	3 P		
可茂学園相談支援センターの紹介	4 P		

『引き継ぎたい想い』

施設長 山口 和己



去る6月、かつて全国知的障害者支援協会の会長もお務めになられた、たんぽぽ福祉会の小坂理事長の「障害を持って生まれた人たちの生涯にわたる幸せとは」と題した講演を拝聴する機会をいただきました。

小坂氏は、ご自身の「協会加入38年、障害児教育に携わって50年」を振り返られ、ご自身の『後悔』という表現をもって過去を振り返られ、実践に基づいた障害児者の生涯の幸せの実現に向けた奮闘を語られました。

人間にとって幼少期、そして青年期になる前の時期が最も大切で、一般的には失敗を重ねながら成長していくこの時期に、知的障害を持った子たちは、親が心配するあまり、全てのことを本人に代わって親がやってしまう。ゆえに一層知恵が付かず、成長は遅くなってしまう。極端な場合は、痛み、熱さ、冷たさ、怖さ、悲しさなども知ることなく過ぎてしまう。通常なら2・3歳になると自分で動き回るようになるが、障害児には親が一日中手

をつなぐ。障害児がこれに反発すると、一層親は手元に置いておこうとする。さらに反発を強める子に、親は子育てがわからなくなる。こうした親は医師に診てもらい、子についての相談はするものの、親に対しては適正な教育がなされていないかった。このあたりが小坂氏の『後悔』であり、行政に対して障害者を子に持つ親の教育をする施設の設置を強く要望するに至った事情であったということでした。

さて、こうして親の愛情のもと、それに依存した知的障害者が成人近くになって入所施設に入って来られる。ここからが入所施設の奮闘場面となる。

職員が信用を得るために鍵を掛けないとか、食器は取えて家庭と同じ陶器製にし、作業で得る給料は現金で支給し、自身で買物ができる仕組みをつくる。海水浴に出かけるのに取えて公共交通機関を乗り継ぎ、仲間の死には施設内での安置により、全員に人の死に直面させるなど。逃亡、破壊、盗難、喧嘩等を覚悟で施設の職員が丸となって「施設の中を普通の生活の場に！」されて来られた。こうしたたんぽぽ福祉会の皆さんの挑戦に私は

頭の下がる思いを抱きました。

私は、入所利用者の方の人生の大半はこの可茂学園の中で展開する訳で、生活を支援することを業務として働いてはいるものの、職員は利用者とともに人生を歩んでおり、その人生のパートナーとも言える利用者の幸せを演出し、ともに喜び合えたら最高の職場になれると思っています。このことを職員にも理解を求めようと常に考えています。

半面、生活支援の仕事は、手抜きをしようと思えば、人知れずできてしまう側面もあり、それに決して流されないように、常に自身を戒めていなければなりません。

可茂学園でお世話になって、未だ数年しか経っていない私は、長年、奮闘して来られた小坂氏の足元にも及びませんが、ご講演をお聴きしながら、小坂氏の利用者の方々の生涯の幸せを追求される思いに胸が震え、熱いものが込み上げてきたことを覚えています。

これから先、当可茂学園の運営に際して、少なくとも私自身はその志、想いを引き継いでまいりたいと考えております。



コロナの波を乗り越えて

明宝会 会長

長瀬 邦夫

初夏の候 コロナでお会い出来ませんでした
が会長の長瀬です。

日頃は、保護者会にご協力頂き、ありがとうございます。

2020年2月 新型コロナウイルスはどんなウイルスかと思つたのもつかの間、猛烈な速さで、繁殖のウイルスじゃないかと思うほど大流行してきました。

いち早く、学園の対策により入居者の帰宅を止め、楽しみに待っていた園生を職員の方々は必死にだめて、パニックにならず、精神的に大変な事だつたと思います。現在では少し下火になりましたが、気をゆるめることはできません。

学園も、昨年暮れ、新型コロナウイルスのクラスターが発生し、ほとんどの園生が感染、職員の方々も感染しながらも園生の介護をしてくださり、大変な事でありました。そのおかげで、一人の重症者も出さず、年末の帰宅を無事に迎えられる、私たちは頭が下がりました。

本当にありがとうございます。
コロナのおかげで、日常の生活も変わってきました。今後も、何が起るかわからない世の中です。私たち保護者も学園に、一層協力していきたいと思っています。

皆様よろしく願ひいたします。

学園だよりに寄せて

可茂会後援会 会長

加藤 政博

3年間に亘るコロナ禍での生活で、読書の時間が増えたのは私にとって幸いな事でした。その中で、特に心に残った二つの言葉を紹介します。

その一つは、『目まぐるしい変化の時代である。永久に変わらないものなどない、と思いがちである。だが、絶対不変の真理は毅然としてある。(一)、「人は必ず死ぬ」ということである。この世に生まれて滅しないものはない。(二)、「自分の人生は自分しか生きられない」ということである。幼子が病気で苦しんでいる。親は自分が変わってやりたいと思う。だが、代わることはできない。(三)、「人生は一回限りである」ということ。人生にリハールはない。また、再演することもできない。』(絶対不変の真理)という教えです。今、自分は、たった一つのたった一回の人生を生きている存在だと気づかされました。

また、二つ目は『どんな人と一緒に生活しても、どんなことに出くわしてもつづがれない人格をつくり、幸せに楽しくいられるような人になりたい』(大人の幸福論)という言葉です。高齢になり、障がい者を家族に持つ我が身ですが、残された日々を大切に前向きに過ごしていきたいと思っています。

新人職員の紹介



林 昌輝

去年の6月より可茂学園の生活支援員として働かせていただいている林昌輝です。

以前は別の業種をしていたが、うまく打ち解けていけるか不安に思う部分もありましたが、笑顔で優しく接してくれる利用者の皆さんにいつも元気をもらっています。

支援員としてまだ力不足で迷惑をおかけする事もあると思いますが、先輩方の指導のもと一生懸命取り組みますのでこれからもよろしく願ひいたします。



澤邊 みつる

4月から週4日ですが生活支援員として働かせて頂いています澤邊みつるです。

2カ月がたちましたが、まだまだ不安や分からないことも沢山あり、先輩達にご迷惑をかけながら色々教えて頂いており感謝しております。

利用者の皆さんからも色々と言葉を頂いて頂き、笑顔で話しかけてくださるので毎日嬉しく楽しく働いています。

利用者の皆さんの笑顔をみてみると自分も笑顔で元気で働くことは大切だなと感じます。これからも先輩方にもっと教えて頂きながら少しでも早く利用者の皆さんのお手伝いがしつかり出来る様頑張りますのでよろしく願ひいたします。

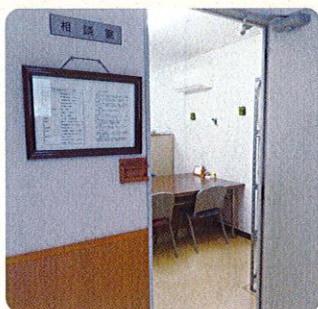
可茂学園相談支援センターの紹介

いつも大変お世話になっております。

今回は皆さんに「相談支援センターとは何をするとところ?」「保護者の皆様にお伝えしたいこと」の2点を中心に、可茂学園相談支援センターの紹介をします。

まずは「相談支援センターとは何をするとところ?」という点です。

平成24年から制度が大きく変わり、利用しているサービスに加えて相談支援という新しいサービスが加わりました。利用者の皆さんからの相談や保護者の皆さんからの相談に応じたり、サービス等利用計画の立案、定期的なモニタリング報告を実施して、利用者の皆さんがよりよい生活を送られるように支援したりという業務を主としています。普段、保護者の皆さんには「聞き取り」として話を伺うことがメインになりますが、日頃感じていることや今後の生活で悩んでいることなど、いろいろお話（相談）していただくと大変うれしく思います。また、定期的にお話を伺うだけではなく、登園された時や帰宅される時など、ちょっと話がしたいなと思われた時は、いつでも本館の玄関に入って左側にある相談支援センターにお立ち寄りください。



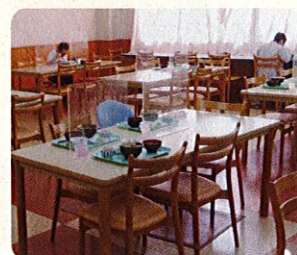
二つ目に「保護者の皆様にお伝えしたいこと」として、障害のある人への福祉全般、制度や仕組みなどが大きく変わりつつあります。20年ほど前までであった措置の時代を経て契約の時代となり、指導から支援と言葉が変わり、利用者の皆さんがサービスと事業所を選択する時代となりました。我々は利用者の皆さんと一緒に歩む、伴走型の支援と変わりました。今後も利用者の皆さんの権利擁護と意思決定支援を大切にしながら、一人ひとりの状態に合わせた適切なサービスと居場所を一緒に考えていきたいと思っています。

食事の管理について

可茂学園の食事は利用者の皆さん個々の身体状況に合わせて提供しています。

例えば、疾患がある方は医師の指示の下、療養食を提供させていただいていますし、特別な疾患のない方は個々の年齢や活動量、体重等のバランスを考慮して食事を調整しています。また、噛む力やのみ込む力が弱い方には、おかずを適度な大きさに切ったり、ペースト状にして提供しています。更に食物アレルギーや嗜好に配慮した食事を提供することで、安全に食事が楽しめるように努めています。

その中で、提供ミスがないようにご利用者の皆さん全員の食札を用意し管理しています。食札とは、個々に決められた食事内容が色やシール、簡単なコメントで分かるようにしたネームプレートのことです。



食札全体の色は食事の種類

ピンク … 普通食 赤 … 糖尿病・透析食
 きいろ … 減食 みずいろ … 脂質異常食
 きみどり … 極きざみ食

主食(ごはん)の量 → 160g
 アレルギーなどの
禁止食材 → そば×

可茂 太郎 様

食札例

おかずのかたち
 ※粗…粗きざみ
 (一口大)

可茂学園ではこのような食札を使用することで、提供ミスがないよう厨房スタッフ、施設職員の双方が注意しています。その他にもシールを使った表現などありますが、更に詳しい内容についてお尋ねになりたい場合は施設栄養士までお問い合わせください。

令和4年度 決算書

(単位：千円)

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
	決算額		決算額
流動資産	289,475	流動負債	34,503
現金預金	223,372	事業未払金	20,825
事業未収金	65,908	賞与引当金	13,678
貯蔵品	195		
固定資産	981,142		
基本財産	287,937	固定負債	41,414
建物(基本)	1,074,504	退職給付引当金	41,414
減価償却累計額△	-787,567		
定期預金	1,000		
その他の固定資産	693,205		
構築物	64,558	負債の部合計	75,917
車両運搬具	31,140	純資産の部	
器具及び備品	67,344	基本金	126,761
建設仮勘定	22,197		
減価償却累計額△	-133,469		
ソフトウェア	302	国庫補助金等特別積立金	131,885
退職給付引当資産	31,917	その他の積立金	609,066
人件費積立資産	130,800		
修繕積立資産	75,810	次期繰越活動収支差額	326,988
備品等購入積立資産	17,000	(うち当期活動増減差額)	9,290
建設積立資産	385,456		
長期前払費用	150		
その他の固定資産	0	純資産の部合計	1,194,700
資産の部合計	1,270,617	負債及び純資産の部合計	1,270,617

資金収支計算書				事業活動計算書				
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	408,168	サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	408,168	
		経常経費寄附金収入	843			経常経費寄附金収益	843	
		受取利息配当金収入	1			サービス活動収益計	409,011	
		その他の収入	4,112			人件費	273,651	
		事業活動収入計	413,124			事業費	53,946	
	支出	人件費支出	269,661		費用	事務費	36,532	
		事業費支出	53,946			減価償却費	34,934	
		事務費支出	36,532			国庫補助金等特別積立金取崩額	-17,608	
		その他の支出	2,378			サービス活動費用計	381,455	
		事業活動支出計	362,517			サービス活動増減差額	27,556	
事業活動資金収支差額		50,607						
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,874	サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1	
		固定資産売却収入	0			その他のサービス活動外収益	4,112	
		施設整備等収入計	1,874			サービス活動外収益計	4,113	
	支出	固定資産取得支出	17,355		費用	その他のサービス活動外費用	2,378	
		施設整備等支出計	17,355			サービス活動外費用計	2,378	
施設整備等資金収支差額		-15,481	サービス活動外増減差額		1,735			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	14,522		経常増減差額			29,291
		その他の活動収入計	14,522		特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,874
	支出	積立資産支出	2,951				固定資産受増額	0
		その他の活動による支出	20,000			その他の特別収益	0	
		その他の活動支出計	22,951	特別収益計		1,874		
	その他の活動資金収支差額		-8,429	費用	固定資産売却損・処分損	0		
予備費支出		0	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却分)		0			
当期資金収支差額合計		26,697	国庫補助金等特別積立金積立額		1,874			
前期末支払資金残高		241,953	その他の特別損失		20,000			
当期末支払資金残高		268,650	特別費用計		21,874			
			特別増減差額		-20,000			
			当期活動増減差額		9,291			
			繰越活動の増減	前期繰越活動収支差額	305,609			
				当期末繰越活動収支差額	314,899			
				基本金取崩額	0			
				その他の積立金取崩額	12,089			
				その他の積立金積立額	0			
			次期繰越活動増減差額		326,988			

【お知らせ】

社会福祉法人「可茂会」の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支決算書について希望される方は、閲覧することができます。お気軽に可茂学園事務室までお問い合わせ下さい。

なお、簡単な会計報告を表示しましたのでご覧ください。

(事務局)

【お知らせ】

社会福祉法人「可茂会」の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支決算書について希望される方は、閲覧することができます。お気軽に可茂学園事務室までお問い合わせ下さい。

なお、簡単な会計報告を表示しましたのでご覧ください。
(事務局)

ご寄附 ありがとうございました

令和4年度分 敬称略 順不同

【寄付金】

K Y B労働組合 様
岐阜県共同募金会 (NHK歳末たすけあい) 様
伊藤 千賀子 様
服部 可津子 様

【寄付物品等】

可茂会後援会 様	洗濯機 2 台
秋山 光起 様	スナッブえんどう、 タマネギ、サニーレタス、 トマト、キャベツ、 さつまいも、生姜、ナス レタス、ピーマン、 じゃがいも
MEGA ドン・キホーテ UNY 美濃加茂店 様	ガチャガチャのケース
加藤 敏明 様	植木鉢 (アオイ)
美濃加茂市社会福祉事業協力会 様	菓子
吉田整備 (株) 様	スイカ、みかん
日本ゼネラルフード (株) 様	ジュース、菓子
小境電気工事 (株) 様	ビール、珈琲
(株) セイヨウトレーディング 様	菓子
佐伯総合建設 (株) 様	酢
桑畑 澄子 様	マスク
片桐電気保安管理事務所 様	珈琲
(株) 大洞工務店 様	ハチミツ
長谷川 秀次 様	スイカ、じゃがいも
渡辺 須磨子 様	ゼリー
和田 朝子 様	菓子
荻山 百合子 様	菓子
河合 進 様	桃
水野 かほる 様	Tシャツ、 日本手ぬぐい、服、 ジュース、マスク、靴下

森本ファーム 様	米
村瀬 正樹 様	柿
長瀬 邦夫 様	キウイフルーツ、りんご、 餅米
高村 峰子 様	みかん、スイカ、菓子、 色鉛筆、鉛筆
加藤 政博 様	みかん
伊藤 光子 様	珈琲
(株) 中濃 様	菓子
小山寺、小山寺女性部 様	もち米、ティッシュペーパー、 トイレットペーパー、石けん
梅田 實美 様	みかん
明治安田生命 可児営業所 様	タオル、マスク
放課後等デイサービス COCORO 様	珈琲
(有) 中部プロパン瓦斯商会 様	みかん
(株) 山岡興業 様	菓子
遠藤 八重子 様	栄養ドリンク
白村 味紀子 様	菓子
道家 道子 様	珈琲
山田 輝世 様	みかん
朝日 美奈乃 様	菓子
竹原 利枝 様	ゼリー、ゴーヤ、トマト、 白菜、じゃがいも、ピーマン、 大根、カボチャ、ししゃも、 りんご、みかん、タマネギ、 柿、パプリカ、洗剤
堀井 幸一 様	きゅうり、ナス、メロン、 じゃがいも、さつまいも、 タマネギ、ピーマン、 ウリ、里芋、大根、白菜、 ブロッコリー、トマト、枝豆
吉田 健治 様	スイカ、柿、菓子
宮口 信久 様	メロン
佐藤 しずか 様	梨
土田 晃司 様	精米

